

責任者	人間福祉学部長	担当部局	人間福祉学部
-----	---------	------	--------

1 人間福祉学部の理念、目的、各種方針

人間福祉学部の理念	変更の有無
人間福祉学部は、永年の伝統を有する「関学社会福祉」の教育研究を継承、発展させつつ、さらにはスポーツ科学・健康科学教育研究及び社会経済研究の資源を活かしながら、それらとの有機的な連携をより一層強めることによって、様々な社会的要請に応えることを目的として設立された。本学部は「人間(humans)」とその生活環境としての「社会(society)」、そしてその両者の交渉関連として「交互作用(transactions)」に関わる諸課題に対してソリューションを提供することによって、質の高い生活と社会の実現(Improving Quality of Human Life and Society)に貢献する人材の輩出を目指す。そのためには、堅実な学問的研究とそれに基づく教育に裏付けられた「実学の府(center of practical science)」であらねばならないと考える。	有・ <input checked="" type="radio"/>
人間福祉学部の目的	変更の有無
地域社会と国際社会における「人間」とその生活環境としての「社会」、そしてその両者の「交互作用」の中で生じる福祉ニーズをはじめとする様々な生活課題へのソリューションを見出し提供できる専門の人材と、市民として地域及び国際社会の福祉向上に貢献する人材の養成を行うことを目的とする。 社会福祉学科 豊かな人間性と人権意識、そして深い知識と優れた実践能力を持つソーシャルワーカー、あるいはソーシャルワーク・マインドを有した市民を養成し、さらにはそれらの養成に従事する人材を育てていくことを教育研究の目的とする。同時に、日本及び国際社会における社会福祉とソーシャルワークの発展と展開に貢献していくこと、そしてそれによって社会福祉学の理論と価値を国内外に広く浸透させていくことも目的として位置づける。 社会起業学科 国際化や多様化が進む現代社会において、社会生活を総合的に捉える視点、地域社会の生活問題を連帯して解決できる自治能力、グローバルな水準の思考力や実践能力を身につけた人材の育成を目的とする。持続可能な福祉社会の実現に向けて、ローカル・ガバナンスに視点をいた総合的アプローチに基づき、多元的・国際的に行動できる「市民力」の形成を目指し、「人間福祉」を核とする優れた社会起業能力の養成を行う。 人間科学科 人間をこころ(スピリチュアリティ)と身体を持つ存在として理解し、社会の中で生きる人の問題を見出し、自己と人々の自己実現を支援するための価値・知識・技術の総体について教育することを目的とする。ここから得られた人間理解に基づき、専門職として人の自己実現やその支援に関わる実践家を育成し、さらに一般市民として地域社会の中でこころと身体の健康に貢献できる人材を育成することを重要なミッションとする。	有・ <input checked="" type="radio"/>
学位授与方針(DP)	変更の有無
Kwansei コンピテンシーの獲得を念頭において、人間福祉学部の DP を以下のとおり定める。 ＜社会福祉学科＞ 1. 大学生にふさわしい基礎力を身につけている 2. 人間と社会とその交互作用に関する基本的知識を身につけている 3. 人間の生活課題を共感的に理解し、幅広い視野から実践的な解決法を考えることができる 4. 社会福祉学科の学生は、社会福祉学に関する専門的知識を身につけ、社会福祉課題の解決に関与し貢献できる ＜社会起業学科＞ 1. 大学生にふさわしい基礎力を身につけている 2. 人間と社会とその交互作用に関する基本的知識を身につけている 3. 人間の生活課題を共感的に理解し、幅広い視野から実践的な解決法を考えることができる 4. 社会起業学科の学生は、社会起業に関する専門的知識を身につけ、グローバルな市民社会の建設に関与し貢献できる ＜人間科学科＞ 1. 大学生にふさわしい基礎力を身につけている 2. 人間と社会とその交互作用に関する基本的知識を身につけている 3. 人間の生活課題を共感的に理解し、幅広い視野から実践的な解決法を考えることができる 4. 人間科学科の学生は、人間科学に関する専門的知識を身につけ、質の高い生活と社会の実現に貢献できる	有・ <input checked="" type="radio"/>
教育課程の編成・実施方針(CP)	変更の有無
＜社会福祉学科＞ 1. 大学生にふさわしい基礎力の修得(キリスト教教育科目/言語教育科目/教養教育科目) (1)キリスト教に関する基礎的知識と社会貢献の態度を身につけている (2)人間と社会に関する教養を身につけている (3)英語で情報を収集し、個人や社会に向けて発信することができる (4)外国語または日本手話に関する基礎的知識を身につけ、基本的なコミュニケーションができる (5)多様な文化に関心をもち、それを理解する態度を身につけている (6)ワープロ、表計算、プレゼンテーション用PCソフトを用いることができる (7)文献、統計、資料などの検索と読解のための基礎力を身につけている (8)レポートを書き、プレゼンテーションをすることができる (9)ディスカッションに参加し、自分の意見を述べる 2. 社会福祉学に関する専門的知識・技能・態度の修得(社会福祉学科専門教育科目) (1)人間と社会とその交互作用についての基礎的知識と課題解決への意欲を身につけている (2)日本および世界の社会福祉の歴史と理念を理解している (3)日本の社会福祉および社会保障制度の概要を理解している (4)ソーシャルワークの理論と実践について、基本的な知識、技能及び態度を身につけている (5)専門ソーシャルワークの理論と実践について発展的な知識、技能及び態度を身につけている (6)ソーシャルワークに関連する専門分野について基礎的知識を身につけている (7)社会福祉およびソーシャルワークの視点で生活課題および心理社会的現象をとらえ、関連領域の視点も活用しながら実践方法を考えることができる	有・ <input checked="" type="radio"/>

<p>3. 研究課題に関する研究実施能力の修得(研究演習・卒業研究)</p> <p>(1) 研究課題に関して、資料を収集し、実験、測定、調査、実践を行い、分析する能力を身につけている</p> <p>(2) 研究課題に関して、レポートまたは論文が書ける</p> <p>4. 学科の専門性と関連する領域における発展的な知識、技能、態度の修得(自由選択科目)</p> <p>(1) 総合教育科目・専門教育科目・全学科目・他学部科目の中から自己の専門性と関連する科目を見つけて自ら学びを計画できる</p> <p>(2) 総合教育科目・専門教育科目・全学科目・他学部科目を活用して自分の専門性を発展させることができる</p> <p><社会起業学科></p> <p>1. 大学生にふさわしい基礎力の修得(キリスト教教育科目/言語教育科目/教養教育科目)</p> <p>(1) キリスト教に関する基礎的知識と社会貢献の態度を身につけている</p> <p>(2) 人間と社会に関する教養を身につけている</p> <p>(3) 英語で情報を収集し、個人や社会に向けて発信することができる</p> <p>(4) 外国語または日本手話に関する基礎的知識を身につけ、基本的なコミュニケーションができる</p> <p>(5) 多様な文化に関心を持ち、それを理解する態度を身につけている</p> <p>(6) ワープロ、表計算、プレゼンテーション用PCソフトを用いることができる</p> <p>(7) 文献、統計、資料などの検索と読解のための基礎力を身につけている</p> <p>(8) レポートを書き、プレゼンテーションをすることができる</p> <p>(9) ディスカッションに参加し、自分の意見を述べる事ができる</p> <p>2. 社会起業に関する専門的知識・技能・態度の修得(社会起業学科専門教育科目)</p> <p>(1) 人間と社会とその相互作用についての基礎的知識と課題解決への意欲を身につけている</p> <p>(2) 多様な社会的課題に対する理解と認識を身につけている</p> <p>(3) グローバルな視点を身につけている</p> <p>(4) 社会的課題に対するさまざまな取り組みに関する知識と方法について理解している</p> <p>(5) 社会起業の理念に関する基本的知識を理解している</p> <p>(6) 社会起業の基本的概念を理解している</p> <p>(7) 社会起業の実践のための専門的知識、技法、経験及び態度を身につけている</p> <p>(8) 社会起業に関連する専門分野についての基礎的知識を身につけている</p> <p>(9) 社会起業に関する情報の収集と活用に必要な知識、技法、経験を身につけている。</p> <p>3. 研究課題に関する研究実施能力の修得(研究演習・卒業研究)</p> <p>(1) 研究課題に関して、資料を収集し、実験、測定、調査、実践を行い、分析する能力を身につけている</p> <p>(2) 研究課題に関して、レポートまたは論文が書ける</p> <p>4. 学科の専門性と関連する領域における発展的な知識、技能、態度の修得(自由選択科目)</p> <p>(1) 総合教育科目・専門教育科目・全学科目・他学部科目の中から自己の専門性と関連する科目を見つけて自ら学びを計画できる</p> <p>(2) 総合教育科目・専門教育科目・全学科目・他学部科目を活用して自分の専門性を発展させることができる</p> <p><人間科学科></p> <p>1. 大学生にふさわしい基礎力の修得(キリスト教教育科目/言語教育科目/教養教育科目)</p> <p>(1) キリスト教に関する基礎的知識と社会貢献の態度を身につけている</p> <p>(2) 人間と社会に関する教養を身につけている</p> <p>(3) 英語で情報を収集し、個人や社会に向けて発信することができる</p> <p>(4) 外国語または日本手話に関する基礎的知識を身につけ、基本的なコミュニケーションができる</p> <p>(5) 多様な文化に関心を持ち、それを理解する態度を身につけている</p> <p>(6) ワープロ、表計算、プレゼンテーション用PCソフトを用いることができる</p> <p>(7) 文献、統計、資料などの検索と読解のための基礎力を身につけている</p> <p>(8) レポートを書き、プレゼンテーションをすることができる</p> <p>(9) ディスカッションに参加し、自分の意見を述べる事ができる</p> <p>2. 人間科学に関する専門的知識・技能・態度の修得(人間科学科専門教育科目)</p> <p>(1) 人間と社会とその相互作用についての基礎的知識と課題解決への意欲を身につけている</p> <p>(2) 「こころ(スピリチュアリティ)と身体」の両面から人間を理解する態度とそのための専門的知識を身につけている</p> <p>(3) 人間のライフコースの各段階(乳・幼児、少年期、青年期、成人期、壮年期、高齢期)における課題や理論について「こころ(スピリチュアリティ)と身体」の両面から理解している</p> <p>(4) 人間の生き方やいのちについて、広い視野から理解している</p> <p>(5) こころ(スピリチュアリティ)についての専門的知識と援助技術を身につけている</p> <p>(6) 身体に関わる科学的専門知識と技術を身につけている</p> <p>3. 研究課題に関する研究実施能力の修得(研究演習・卒業研究)</p> <p>(1) 研究課題に関して、資料を収集し、実験、測定、調査、実践を行い、分析する能力を身につけている</p> <p>(2) 研究課題に関して、レポートまたは論文が書ける</p> <p>4. 学科の専門性と関連する領域における発展的な知識、技能、態度の修得(自由選択科目)</p> <p>(1) 総合教育科目・専門教育科目・全学科目・他学部科目の中から自己の専門性と関連する科目を見つけて自ら学びを計画できる</p> <p>(2) 総合教育科目・専門教育科目・全学科目・他学部科目を活用して自分の専門性を発展させることができる</p>	<p>変更の有無</p>
<p>学生の受け入れ方針(AP)</p> <p>【関西学院大学(学士課程)】(2023年度入学生)</p> <p>I. 関西学院大学アドミッション・ポリシー</p> <p>世界を視野におさめ、他者(ひと)への思いやりと社会変革への気概を持ち、高い識見と倫理観を備えて自己を確立し、自らの大きな志を持って行動力を発揮する“Mastery for Service”を体現する世界市民を育成することが関西学院のミッションです。</p> <p>関西学院大学は、このミッションに共感し、大学での学びや諸活動の中で、自分への挑戦をし続ける意欲にあふれ、さまざまな適性を有する多様な背景をもった学生・生徒を世界のあらゆる地域から受け入れます。</p>	<p>④・無</p>

そのために、これまでに培われた確かな基礎学力、活動や経験を通じて身に付けた資質、能力、学ぶ意欲や人間性などを、多様な入試制度により多角的に評価することを基本的な方針としています。

Ⅱ. 学部のアドミッション・ポリシー

人間福祉学部では、人間とその生活環境としての社会、そして両者の相互作用を全体的に捉えながら、「質の高い生活と社会」の実現に向けて貢献できる人材の育成を目指します。そのための基本理念として「3つのC」、すなわち「人への思いやり(Compassion)」、「幅広い視野(Comprehensiveness)」、「高度な問題解決能力(Competence)」をすべての学科に共通するキー・コンセプトとして位置づけています。

一般選抜ではこの理念や教育プログラムにふさわしい生徒を確保するために、「高校において基本とするような科目全体について一定の学力を持っているか、特に言語的能力があり理解力や論述力に優れているか、あるいは特に数理的な能力に優れているか」との観点から試験を実施します。

なお、本学部の入学にあたって、社会福祉学科は、「社会福祉にかかわる分野での職業選択を希望しているかその分野に理解がある」ことが、社会起業学科は、「社会起業に関心があり、国内外での社会貢献活動をめざしているかそのような分野に理解がある」ことが、人間科学科は、「死生学・生命倫理学・悲嘆学などのところ(スピリチュアリティ)に関する学問に関心があるか、身体(スポーツ・健康)に関連する分野に関心があり、それぞれの分野での職業選択を希望しているかそれらの分野に理解がある」ことが求められます。

以上の項目を募集方針の要素として、教科・科目を設定して筆記試験を中心とする一般選抜と、面接(口頭試問)等を探り入れた学校推薦型選抜・総合型選抜を実施しています。高等学校における基礎学力の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を、それぞれの入学試験において重み付けを行い評価しています。

Ⅲ. 入学試験毎のアドミッション・ポリシー

1. 一般選抜

一般選抜は、各学部での教育に必要な「総合的な学力を持つ受験生を選抜する」ものです。

一般入学試験では各学部の教育理念・目標に基づき試験教科・科目、配点を設定し、筆記試験により関西学院大学で学ぶために必要な学力「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を判定するための問題を独自に作成しています。

全学部日程の文系入学試験では本学で学ぶために必要な「英語」「国語」を必須とし、「日本史」「世界史」「地理」「数学(記述式)」を選択科目とし筆記試験を実施します。全学部日程の国際学部については、高い英語能力を有する生徒を評価するため、「英語」に特化した「英語」「英語論述」による入学試験も実施しています。

学部個別日程の文系入学試験では本学で学ぶために必要な「英語(記述式含む)」「国語(記述式含む)」を必須とし、「日本史」「世界史」「数学(記述式)」を選択科目とし筆記試験を実施します。なお文学部・法学部では「日本史」「世界史」「数学(記述式)」に加えて「地理」を選択科目に加えています。人間福祉学部については学部個別日程において「英語(記述式含む)」「国語(記述式含む)」の2科目による筆記試験を行っています。

理系入学試験においては全学部日程を2日間実施、入試制度も2種類実施しています。総合型および数学・理科重視型においては、本学で学ぶために必要な「英語」「数学(記述式)」を必須とし、理科(記述式)「物理」「化学」「生物」のいずれかを選択する筆記試験を実施しています。

一般入学試験共通テスト併用日程／英数日程は、英語・数数学型、共通テスト併用型・英語、共通テスト併用型・数学の3方式を実施しています。英語・数数学型は、関西学院大学の「英語(記述式含む)」と「数学(記述式)」による筆記試験を実施し、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を判定しています。共通テスト併用型・英語、共通テスト併用型・数学は、関西学院大学の「英語(記述式含む)」または「数学(記述式)」に、大学入学共通テストの教科・科目の得点を加味し、各学部で学ぶための学力と総合的な基礎学力を有する生徒を選抜するために実施しています。

大学入学共通テストを利用する入学試験は、「一般入学試験とは異なるタイプの受験生を受け入れるための入試制度」と位置づけています。大学入学共通テストで実施している教科・科目の筆記試験をもとに、本学で学ぶために必要な総合的な基礎学力を「知識・技能」を中心に判定を行い、大学入学共通テストの得点のみで合否判定を行います。

1月出願においては、総合政策学部3科目英数型を除く文系学部は「外国語」「国語」を必須として、「数学」「理科」「地理歴史」「公民」から高得点を採用する方式を3科目型、5科目型の方式で実施します。また「外国語」「国語」「数学」「地理歴史・公民」「理科」を必須とする7科目型を実施します。理系学部は「英語」「数学」を必須として各学科の学びに必要な科目について必須科目もしくは選択科目として加え、高等学校における各教科の基礎学力のうち「知識・技能」を評価します。また、3月出願においては、文系学部は「英語」を必須とし、「国語」「数学」「理科」「地理歴史」「公民」から高得点科目を採用する方式を実施しています。理系学部は「英語」「数学」を必須として各学科の学びに必要な科目について必須科目もしくは選択科目として加え、高等学校における各教科の基礎学力のうち「知識・技能」を評価します。

また、大学入学共通テストを利用する入学試験(1月出願 3科目型(英語資格・検定試験利用))、大学入学共通テストを利用する入学試験(1月出願 5科目型(英語資格・検定試験利用))は、「読む」「書く」「聞く」「話す」の英語の4技能を身に付けた生徒を選抜するために、提出された書類のうち英語資格・検定試験のスコアを出願資格として高く評価し、大学入学共通テストの教科・科目の得点を活用して実施する入学試験であり、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を得点として評価し、検定試験に取り組んだ「主体性」を高く評価します。

2. グローバル入学試験

グローバル入学試験は、入学後、本学のスーパーグローバル大学創成事業における国際教育プログラム(国際教育プログラム)に積極的に取り組むことを希望する生徒や、将来、国際的な活躍を目指す生徒を対象に3つのカテゴリーで実施する入学試験です。

① 国際的な活躍を志す者を対象とした入学試験

関西学院大学のアドミッション・ポリシーに基づき、本入学試験では、英語能力に加え、留学経験、模擬国連での活動など、自ら国際的な活動に取り組んだ実績を有し、国際的課題解決のための提案・実践に意欲を有するとともに、その国際的な活動で培った力を関西学院大学の国際教育プログラム(国際教育プログラム)に挑戦することでさらに発展させ、国際社会で活躍できる力を身に付けることを志す者を求めています。

第1次審査では、書類審査および筆記審査を行い、「主体性」「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を総合的に評価します。

第2次審査では、学部毎に実施する面接(口頭試問含む)により、志望学部における学びの意欲や学びの計画、人間性などを評価します。

② インターナショナル・バカロレア入学試験

関西学院大学のアドミッション・ポリシーに基づき、本入学試験では、国際的に認められた大学入学資格であるインターナショナル・バカロレアDP(ディプロマ・プログラム)の課程を修了後、統一試験に合格し、インターナショナル・バカロレア資格を有するとともに、入学後は、本学のインターナショナル・プログラム(国際教育プログラム)を通して、国際社会で活躍する能力を身に付けることを志す者を求めています。

第1次審査では、書類審査および筆記審査を行い、「主体性」「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を総合的に評価します。

第2次審査では、学部毎に実施する面接(口頭試問含む)により、志望学部における学びの意欲や学びの計画、人間性などを評価します。

③ 帰国生徒入学試験

関西学院大学のアドミッション・ポリシーに基づき、本入学試験では、家庭の事情等により海外に長期間滞在し、海外の教育を受けた者で、日本での生活や短期間の留学では身に付けることのできない主体性や価値観、多角的視点、困難を乗り越えた経験などを持ち、それらを本学での学生生活や学びに生かそうとする者を求めています。多様な背景を持つ学生が集い刺激し合うことで、キャンパスが活性化する教育的効果も望んでいます。さらに、帰国生徒が他の学生と相互交流を通して学識や人間性をより一層高め、将来の日本および世界を支えていく真の国際人として成長することにも期待します。

第1次審査では、筆記審査を行い、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。

第2次審査では、学部毎に実施する面接(口頭試問含む)により、志望学部における学びの意欲や学びの計画、人間性などを評価します。

3. 推薦入学

推薦入学は高等学校長の責任ある推薦により本学で学ぶために必要な学力を有する生徒を受け入れるものです。審査においては調査書、自己推薦書、志望理由書、学校長推薦書等の提出書類による書類審査と面接(口頭試問含む)を通じて、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を多面的・多元的に評価します。

①院内推薦入学

1) 関西学院高等部

関西学院高等部推薦入学は関西学院の一貫教育の大きな柱として位置づけられています。高等部でキリスト教主義教育による関西学院の建学の精神のもとに学んだ生徒を受け入れることにより、大学進学後もそれぞれの学部において、正課、課外活動、学内諸活動の面で学生の核となり、他の入学者に対しても良い影響を与え関西学院の学風を担うことを期待し実施するものです。審査では志願提出書類の書類審査と面接(口頭試問含む)を通じて、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を多面的・多元的に評価します。

2) 関西学院千里国際高等部

関西学院千里国際高等部推薦入学は、千里国際高等部の特色である国際教育と、キリスト教主義教育による関西学院の建学の精神のもとに学んだ生徒を受け入れることにより、大学進学後もそれぞれの学部において、正課、課外活動、学内諸活動の面で学生の核となり、関西学院大学の活性化に寄与することを期待し実施するものです。審査では志願提出書類の書類審査と面接(口頭試問含む)を通じて、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を多面的・多元的に評価します。

②継続校(啓明学院高等学校)推薦入学

啓明学院継続校推薦入学は、キリスト教主義教育により学んだ啓明学院高等学校の生徒を受け入れることにより、大学進学後もそれぞれの学部において、正課、課外活動、学内諸活動の面で学生の核となり、関西学院大学の活性化に寄与することを期待し実施するものです。審査では志願提出書類の書類審査と面接(口頭試問含む)を通じて、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を多面的・多元的に評価します。

③提携校推薦入学

関西学院大学提携校推薦入学は、個性的でかつ高い資質をもつ生徒を受け入れるために実施しています。関西学院の建学の精神および教育理念を理解し、高等学校校独自の特色を活かした優れた教育プログラムによって学んだ生徒を受け入れるものです。審査では志願提出書類の書類審査と面接(口頭試問含む)を通じて、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を多面的・多元的に評価します。

④協定校推薦入学

1) キリスト教学校枠

関西学院大学協定校推薦入学は、高等学校のキリスト教主義教育により学び、個性的でかつ高い資質をもつ生徒を受け入れるために実施しています。関西学院の建学の精神および教育理念を理解し、高等学校校独自の特色を活かした優れた教育プログラムによって学んだ生徒を受け入れるものです。審査では志願提出書類の書類審査と面接(口頭試問含む)を通じて、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を多面的・多元的に評価します。

2) グローバル枠

関西学院大学協定校推薦入学は、個性的でかつ高い資質をもつ生徒を受け入れるために実施しています。21世紀的な教育目標であるグローバルな観点に立って国際社会に貢献できる人材として、関西学院の建学の精神および教育理念を理解し、高等学校校独自の特色を活かした優れた教育プログラムによって学んだ生徒を受け入れるものです。審査では志願提出書類の書類審査と面接(口頭試問含む)を通じて、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を多面的・多元的に評価します。

3) グローバル+キリスト教校枠

関西学院大学協定校推薦入学は、21世紀的な教育目標であるグローバルな観点に立って国際社会に貢献できる人材として、高等学校のキリスト教主義教育により学び、個性的でかつ高い資質をもつ生徒を受け入れ、関西学院の建学の精神および教育理念を理解し、高等学校独自の特色を活かした優れた教育プログラムによって学んだ生徒をも受け入れるために実施するものです。審査では志願提出書類の書類審査と面接(口頭試問含む)を通じて、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を多面的・多元的に評価します。

⑤指定校推薦入学

指定校推薦入学は一定の学力を有する生徒を高等学校長の責任に基づく推薦を受け、書類審査・面接(口頭試問含む)によって総合的に評価し受け入れるための制度です。出願書類と面接(口頭試問含む)において、一定水準以上の「知識・技能」、各学部で学ぶために必要な「思考力・判断力・表現力」や「主体性・多様性・協働性」が備わっているか等を評価し、入学後の勉学における明確な志向および意欲の評価に重点を置き総合的に審査しています。

人間福祉学部

関西学院大学人間福祉学部において勉学することに強い意欲をもち、成績優秀で個性豊かな生徒を求め、本学の建学の精神に基づき、将来性ある人物を育成することを目的とします。審査では志願提出書類、面接(口頭試問含む)を通じて、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を多面的・多元的に評価します。

⑥指定校推薦編入学

指定校推薦編入学は、一定の学力「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を有する学生を学長の責任に基づく推薦を受け、書類審査・面接(口頭試問含む)によって各学部において学ぶ意欲等を総合的に評価し受け入れるための制度です。

4. 探究評価型入学試験

関西学院大学のアドミッション・ポリシーに基づき、本入学試験では、横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を発見し、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を持ち、多様な人々と協働して学ぶことが出来る者を求めています。

第1次審査では、探究活動の成果物含む提出書類を審査し、主体性や協働性、課題発見・解決能力、また、本学で学ぶにふさわしい「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。

第2次審査では、学部毎に実施する面接(口頭試問含む)や探究活動に関するプレゼンテーション等で探究活動のプロセスや自己の成長、入学後の志望学部での学びの意欲や学びの計画などを評価します。

5. UNHCR難民高等教育プログラムによる推薦入学

「UNHCR難民高等教育プログラムによる推薦入学」は、関西学院大学と国連難民高等弁務官(UNHCR)駐日事務所および国連UNHCR協会との協定に基づき実施する入学制度です。これは本学の建学の精神に基づく「人類の幸福と平和に資する世界市民の育成」を現代に即したかたちで実現するためのものです。

日本で生活する難民の方々は、厳しい環境下におかれています。特に教育面では、本人や家族の経済的事情や、母国での出身校の卒業証明が得られないなどの理由で、高等教育を受ける機会を失っている場合が少なくありません。それが就労条件の悪化、さらには、経済的事情の悪化につながっています。

こうした状況を少しでも改善することを目的とするこの推薦入学制度で入学した生徒が、高い教養と専門性を身につけ、将来、日本、母国あるいは国際社会において平和の構築や社会の発展を支える人材へと成長することが期待されています。また関西学院大学で共に学ぶ他の学生にとっても、迫害や戦争といった国際社会が抱える問題を身近に捉えるとともに、日本国内の国際化を意識する機会となります。

国連難民高等弁務官(UNHCR)駐日事務所および国連UNHCR協会の推薦に基づき、面接及び口頭試問を行い本学で学ぶ意欲を中心にしながら「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」について評価を行います。

6. スポーツ選抜入学試験

関西学院大学のアドミッション・ポリシーに基づき、本入学試験では、スポーツ活動において優れた能力と競技実績を有し、入学後に学業とスポーツ活動を両立させる強い意欲をもつ者を積極的に受け入れ、本学における教育の活性化とスポーツ活動の一層の振興に寄与することを目指しています。

第1次審査では、書類審査にてスポーツ活動における実績を評価するとともに、筆記審査にて、本学で学ぶにあたっての基礎学力、知識、表現力、論理的思考力を評価します。

第2次審査では、学部毎に実施する面接(口頭試問含む)等により、志願する学部で学ぶ意欲を中心に評価を行います。

7. 外国人留学生入学試験

本学は、米国南メソジスト監督教会の宣教師、W. R. ランバスによって創設されました。開学当初から多くの外国人教員が教鞭をとっていたこともあり、外国人留学生を古くから受け入れ、日本の大学の中では国際色豊かな大学としてその学風を育んできました。


この入学試験制度は外国人留学生を対象とし、さまざまな国からの留学生を受け入れることにより、大学の国際性を一層高め、ひいてはキャンパスの活性化を図る教育的効果も期待した、いわゆる「多元的入試」の一環として実施されます。

出願時の提出書類に基づき審査を実施し、本学で学ぶにあたって必要な日本語力および、基礎学力を有しているかを審査した後、各学部が面接審査(口頭試問を含む)・筆記試験等を実施し、志願する学部で学ぶ意欲や人間性などを中心に評価し、出願時提出書類と合わせて総合的に判断し、選抜します。

8. 学部特色入学試験

関西学院大学のアドミッション・ポリシー、また、各学部が定めるアドミッション・ポリシーに基づき、各学部が求める多様な能力、様々な経験や活動を通じて身につけた豊かな人間性をもった学生を求めています。

人間福祉学部

<p>人間福祉学部は、関西学院大学のなかで伝統のある「社会福祉」の分野をさらに進化させ、「人間そのもの」そして「その生活環境としての社会」について理解を深め、よりよい社会の実現をめざして学ぶ学際的分野をテーマとする実学志向の学部です。</p> <p>社会福祉学科では、社会的支援の必要な人の自立や自己実現への支援、社会福祉に関する政策や実践を学び、未来の社会福祉を担うソーシャルワーカーとしてリーダーシップを発揮できる人、社会起業学科では、国際的な視点とコミュニケーション能力を養い、地域社会や国際社会に貢献できる行動力と知識を身につけ、社会起業とともに企業、自治体、NPO・NGO、国際機関などで社会のあり方を提案できる人、人間科学科では、人間を「こころ(スピリチュアリティ)」と「身体」の両面からとらえ、「こころ」や「身体」を病む人や悲しみの中にある人に寄り添い、人々のQOL(いのちの質・生活の質)を支える人を育成します。</p> <p>学部特色入試では、基礎的な学力に加えて、社会貢献活動、文化・芸術活動の実績、体験・経験、創造力、能力・資格、リーダーシップなどで特色を持つ者、豊かな人間性と学ぶ意欲を持ち、誰ひとり取り残さない社会をめざす者を積極的に受け入れます。</p> <p>審査は書類審査・筆記審査・面接審査を通じて、学力「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を多面的・多角的に評価します。書類審査においては提出された書類や調査書に基づき、高等学校での学びや活動の成果から「主体性・多様性・協働性」などを中心に評価を行います。筆記審査においては日本語資料による読解・論述審査、英語資料による読解・論述審査を行い「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を中心とした学力を評価します。さらに面接審査においては上述の本学部で学ぶ意欲を中心に総合的に評価を行います。</p>	
<p>学生支援に関する方針</p>	<p>変更の有無</p>
<p>多様な学生に対する支援</p> <p>修学支援</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. アカデミックアドバイザー制度 アカデミックアドバイザーを任命し、同アドバイザーが事務職員と協働で、定めた期間内に1年生及び2年生の成績不振学生への個別指導(個別相談による学修指導及びその他これに付随する指導)を行う。 2. キャンパスライフアドバイザー制度 学生が演習(基礎演習、研究演習)に所属しない期間の学生生活に関わる相談窓口として、キャンパスライフアドバイザーを配置する。 アドバイザーは当該学生の基礎演習担当教員とする。 3. 要配慮学生への支援 毎学期初めに障害や疾病等のため授業中に配慮が必要な学生を把握し、配慮の内容について当該学生・教員・事務局間でコンセンサスを取る。それに基づき、各授業担当者に配慮依頼文書を渡すとともに、教授会でも情報共有を行う。定期試験においても必要に応じて適切な配慮を講じる。また、適宜総合支援センターと連携を取る。以上を円滑に進めると同時に、新たな状況に対応するために学部障害学生支援委員会を設けている。 4. 実践教育支援室の設置 実習、フィールドワーク、インターンシップ等の実習プログラムに参加する学生への支援組織として、実践教育支援室を設置している。経験豊富な専門スタッフ(人間福祉実習助手)が常駐し、各プログラムの事前準備や心構え、実施中の支援、事後の振り返り等をサポートするとともに、施設・機関とのコーディネートを行い、現場の指導者、本学担当教員、学生の3者の連携に注力し、学生の修学支援を行う。 5. 奨学金 「荒川義子奨学金規程」により、社会福祉士及び精神保健福祉士国家試験受験資格取得に必要な実習科目を履修する学生に対して経済的支援を行う。また、「人間福祉学部海外語学研修奨学金規程」により、社会起業学科が実施する海外語学研修(社会起業英語中期留学)に参加する学生のうち要件を満たす者に対して奨学金を支給する。 <p>生活支援</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. キャンパスライフアドバイザー制度 学生が演習(基礎演習、研究演習)に所属しない期間の学生生活全般に関わる相談窓口として、キャンパスライフアドバイザーを配置する。アドバイザーは当該学生の基礎演習担当教員とする。 2. 要配慮学生への支援 毎学期初めに障害や疾病等のため授業中に配慮が必要な学生の把握に努め、教授会で共有を行う。授業中の配慮を各担当者に依頼するとともに、学生生活の部分については、総合支援センターと綿密な連携を取る。以上を円滑に進めると同時に、新たな状況に対応するために学部障害学生支援委員会を設けている。 <p>進路支援</p> <p>実践教育支援室が社会福祉士及び精神保健福祉士国家試験受験資格取得に関わる指導(サポート)や、就職(福祉職)に関わる情報提供を行う。</p>	<p>有・</p>
<p>教員像</p>	<p>変更の有無</p>
<p>・学生の志を受けとめ、その成長を喜びとして、それぞれ学生が自らの潜在能力を可能な限り開花できるよう、真摯に教育に取り組む姿勢を持つ。 ・専門分野においては、自らの研究課題に向き合い、誠実に継続的に探究し、その成果を広く発信して社会に貢献できるような高い研究能力を持つ。 ・組織の発展、継続のために、自らの持つ力を活用し、また多くの教職員と共に協働・連携して課題に取り組む姿勢を持つ。</p>	<p>有・</p>
<p>教員組織の編制方針</p>	<p>変更の有無</p>
<p>人間福祉学部の理念・目的、人材養成に関する目的、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに照らして、適切な専門分野・経験等を持つ教員を、人数・年齢構成・男女比等の観点から、職位・雇用条件に鑑みて、適切に配置するための手続きを明確化、透明化する。</p>	<p>有・</p>